

若い皆さん、バプテスマの後もクリスチャンとして成長していきましょう

「愛によって……全ての点で成長していきましょう」。[エフェソス 4:15](#)

[56 番の歌](#) 真理を生き方にする

何を学ぶか*若い人がバプテスマを受けると、エホバに仕える人たちは皆とてもうれしく感じるものです。もちろん、バプテスマを受けた人は、**その後もクリスチャンとして成長していく必要**があります。この記事では、最近バプテスマを受けた若い兄弟姉妹がクリスチャンとして**成長していくためにどんなことができるか**を取り上げます。若い人だけでなく、**会衆の全ての人が大切な点を学べます。**

1. 大勢の若い人たちは、どんな素晴らしいことをしてきましたか。

毎年、**非常に大勢の若い人たちがバプテスマを受けています**。あなたもその1人ですか。もしそうなら、**会衆の兄弟姉妹だけでなく、エホバも喜んでいる**に違いありません。**([格 27:11](#) わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(*に挑む)者に私が答えるためである)** **あなたがこれまでしてきたこと**について、少し考えてみましょう。おそらく**何年にもわたって、熱心に聖書を勉強**してきました。そして、**聖書が神の言葉であることを確信**するようになりました。それに加えて、**聖書を書いた方であるエホバを知って愛する**ようになりました。エホバを**深く愛する**ようになりましたので、**献身してバプテスマを受けました**。本当に素晴らしいことです。

2. この記事ではどんなことを考えますか。

2 あなたは**バプテスマを目指す中で、さまざまな信仰の試練を経験**してきたことでしょう。とはいえ、**今後は別の試練も経験することになります**。サタンが**エホバに対するあなたの愛を弱め、エホバから引き離そうとする**からです。**([エフェ 4:14](#) ですから、私たちはもう子供であってはならず、波にもまれるかのように翻弄されたり、風に吹かれるかのようにさまざまな教えに振り回されたりしてはなりません。**
人に欺かれたり、ずる賢いたくらみに乗せられたりしてはならないのです) 決してそれに**負けてはいけません**。どうすれば**エホバへの忠実を保ち、献身の誓いを守る**ことができるでしょうか。クリスチャンとして**十分に成長する**「努力」を続けることです。**([ヘブ 6:1](#) それで、私たちはキリストに関する初歩の教理より先に進んだのですから、十分に成長するように努力しましょう。基礎的な教えに逆戻りしては(d*再び土台を据えては)なりません。すなわち、むなしい(d*死んでいる)行いを悔い改めること、神への信仰、)** では、**そのためにどんなことができますか。**

クリスチャンとして成長するには

3. クリスチャンは皆、バプテスマを受けた後もどうする必要がありますか。

3 私たちは皆、バプテスマを受けた後も、パウロのアドバイスに従う必要があります。パウロはエフェソスの仲間たちに対して、クリスチャンとして「十分に成長」するようにと言いました。
(エフェ 4:13) そのおかげで私たちは皆、信仰の一致と、神の子についての正確な知識の一致に達し、十分に成長した人(*大人)となり、キリストの背丈(*域)に達するようになります) これはつまり、進歩を続ける必要があるということです。パウロは、クリスチャンとしての成長を子供の文字通りの成長に例えました。赤ちゃんが生まれると、親はその子のことを喜び、誇らしく思います。でも、その子はいつまでも赤ちゃんのままでいることはできません。成長して、「子供の特徴」を捨て去る必要があります。 (コリー 13:11 私は子供だった時、子供の話し方をし、子供の考え方をし、子供の捉え方(*推論の仕方)をしていました。しかし、大人になった今、子供の特徴を捨て去りました) ク里斯チャンも同じように、バプテスマを受けた後も成長を続ける必要があるのです。では、この点でどんなことが助けになるでしょうか。

4. クリスチャンとしてどんな面で成長することができますか。そのためにはどうする必要がありますか。 (フィリピ 1:9)

4 エホバを愛する面で成長する。あなたはすでにエホバを心から愛していることでしょう。でも、その愛をさらに深めることができます。どのようにでしょうか。パウロはフィリピ 1章 9節 私はこう祈り続けています。皆さんのが正確な知識と十分な識別力を得て、いっそ愛の豊かな人になれますようにで、そうする1つの方法について述べています。(読む。) パウロは、フィリピの兄弟姉妹が「いっそ愛の豊かな人になれますように」と祈りました。ですから、私たちはエホバを愛する面で成長することができるのです。そのために、「正確な知識と十分な識別力」を得る必要があります。エホバについて知れば知るほど、エホバをいっそ愛し、エホバの性格や物事の扱い方に魅力を感じるようになります。また、「エホバに喜ばれることを行いたい、エホバが悲しむことは決してしたくない」という気持ちを強めることもできます。そして、エホバが私たちに何を望んでいるのか、どうすればそれを行えるかを見分けるよう努力することもできます。

5-6. エホバを愛する面で成長するために、どんなことができますか。

5 イエスはエホバの性格を完璧に反映していました。それで私たちは、イエスについて知れば知るほどエホバへの愛を深めることができます。(ヘブ 1:3 神の子は、神の栄光を反映し、神の本質を完全に表していて、) イエスについて知る一番良い方法は、四福音書を調べることです。あなたは、聖書を毎日読むことを習慣にしていますか。もしまだあれば、ぜひ始めてみてください。イエスについての記述を読む時には、イエスの性質に注目しましょう。①イエスは近づきやすい人でした。幼い子供たちを優しく抱き寄せました。(マル 10:13-16 さて、イエスに触れてもらうために、人々が幼い子供たちを連れてきたが、弟子たちは人々を叱りつけた。14 イエスはこれを見て憤り、言った。「子供たちを私の所に来させなさい。止めようとしてはなりません。神の王国はこの子供たちのような人のものだからです。15 はっきり言いますが、幼い子供のように神の王国を受け入れる人でなければ、決してそこに入れません」。16 それから、子供たちを抱き寄せ、手を置いて、祝福があるようにと願い始めた) また、人を緊張させることはありませんでした。それで、弟子たちはイエスがいる時にも、自分たちの考えを気兼ねなく話すことができました。(マタ 16:22 すると、ペテロはイエスを脇に連れていき、「主よ、自分を大切にしてください。決してそのような目には遭いません」と言って、叱り始めた) このようにして、イエスは天のお父さんエホ

バに倣っていました。ですから、エホバも近づきやすい方だということが分かります。私たちは、エホバに祈りで近づき、自分の気持ちを打ち明けることができます。こんなことを祈つたら怒られるだろうか、などと心配する必要はありません。エホバは、私たちのことを愛し、気遣ってくださっているのです。 (ペテー 5:7 そして、心配事(*不安/悩み)を全て神に委ねましょう。神は優しく気遣ってくださるからです)

6 ②イエスは、人々に同情を覚えました。マタイはこう書いています。「[イエスは]群衆を見て、かわいそうに思った。羊飼いのいない羊のように痛めつけられ、放り出されていたからである」。 (←マタ 9:36) では、エホバはどう感じているのでしょうか。イエスはこう言っています。「天にいる私の父はそれら目立たない人の1人が滅びることも望んでいません」。 (マタ 18:14) このことを知ると、本当にうれしくなるのではないでしょうか。確かに、イエスについて知れば知るほど、エホバへの愛は深まっていくのです。

7. クリスチャンとして十分に成長した兄弟姉妹とよく知り合うことは、どのように助けとなりますか。

7 クリスチャンとして十分に成長した兄弟姉妹とよく知り合うようにするなら、いっそエホバを愛するようになり、自分もクリスチャンとして成長することができます。こうした兄弟姉妹は、本当に喜びにあふれています。そして、エホバに仕えるという決定を全く後悔していません。こうした兄弟姉妹に、エホバに仕える中でどんな経験をしてきたのか、尋ねてみるのはどうでしょうか。また、重要な決定をしなければならない時には、アドバイスを求めるすることもできます。聖書にある通り、「助言者が多ければ成功する」のです。 (格 11:14 巧みな指揮(*的確な導き)がないと民は倒れ、助言者が多ければ成功する(*救われる))



進化論の授業に備えてどんなことができるか。 (8-9節を参照。)

8. 聖書の教えに疑いを感じたら、何ができますか。

8 疑いの気持ちを乗り越える。2節で考えた通り、サタンは、私たちがクリスチャンとしてさらに成長するのを阻もうとしています。そのために、聖書の教えに対する疑いの気持ちを抱かせようことがあります。例えば、神を無視した進化論の教えを聞くことになるでしょう。幼い時

にはこうした教えについて考えたことはなかったかもしれません、大きくなると学校で教えられることになります。先生たちの話を聞いていると、論理的で本当らしく聞こえることもあるでしょう。でも、こうした先生たちは、創造者がいるかどうかについてじっくり考えたことはないかもしれません。格言 18 章 17 節→にある次の言葉を覚えておくのは大切です。「最初に言い分を述べる人は正しく見える。やがて相手方が来て、彼に問いただす(*を徹底的に調べる)」。ですから、学校で教わることをうのみにするのではなく、聖書の真理をよく調べるようにしましょう。エホバの証人の出版物を調査してください。また、以前に進化論を信じていた兄弟姉妹に、私たちを愛する創造者がいると確信できたのはなぜかを尋ねてみることもできます。こうした会話は、創造者がいることを示す証拠に目を向ける助けとなります。

9. メリッサ姉妹の経験からどんなことを学べますか。

9 メリッサ姉妹は、創造について調べることが本当に役立ったと感じています。*一部の名前は変えています。こう言っています。「学校では、進化論が事実であるかのように教えられます。私は初め、自分の疑いに向き合いたくありませんでした。もし創造がうそだと分かったらどうしよう、と思ったんです。でも、エホバは私たちが証拠をきちんと調べた上でご自分に仕えることを願っているはずだ、と思いました。それで、調査することにしました。『あなたのことを気づかう創造者がおられますか』の本や、『生命—どこから?』、『生命の起源—5つの大切な質問』の冊子を読みました。本当に助けになりました。もっと早くそうしていたらよかったです」。

10-11. 道徳面での清さを保つためにどんなことができますか。 (テサロニケ第一 4:3, 4)

10 間違った行いを退ける。思春期には、セックスをしたいという気持ちが強くなったり、性的に不道徳なことを行うよう強い圧力を受けたりするかもしれません。サタンは、私たちがこうした欲望に負けて間違ったことを行うよう願っています。では、どうすれば道徳面での清さを保てるでしょうか。 (テサロニケ第一 4:3, 4 神は、皆さんが聖なる者となり、性的不道徳(ギ語ポルネイア)を避けることを望んでいます。4 皆さん一人一人は、聖なる者として品位を保てるよう、自分の体(d*器)をどのように制するかを知っているべきですを読む。) ①エホバに祈ることができます。自分の本当の気持ちを打ち明け、力を与えてくださいとお願いしましょう。 (マタ 6:13 私たちを誘惑に陥らせないで、邪悪な者(*邪悪なこと)から救い出してください) エホバはあなたを責めようとしているのではなく、助けたいと思っています。 (詩 103:13, 14 父が子を憐れむように、エホバはご自分を畏れる人たちを憐れんだ。14 神は私たちの造りをよく知っている。私たちが土でできているにすぎないことを覚えている) また、②聖書を読むことも助けになります。先ほどのメリッサ姉妹は、不道徳な考えと闘っていました。こう言っています。「毎日聖書を読んだおかげで、頑張ることができました。自分がエホバのものであり、エホバにずっと仕えたいと思っていることを思い起こす助けにもなりました」。 (詩 119:9 若い人はどうすれば清く生きられるだろう。あなたの言葉に従って注意深くあるならそうできる)

11 ③自分一人で問題を解決しようとしてはいけません。悩んでいることをぜひ親に話してください。そうするのは簡単ではありませんが、とても大切なことです。メリッサ姉妹はこう言います。「勇気を求めてエホバに祈り、父に悩みを打ち明けました。そうしたら、とっても気持ちが楽になりました。エホバは私を見て、誇らしく感じてくれたと思います」。

12. どうすれば良い決定ができますか。

12 **聖書の原則を指針とする。** あなたが大きくなるにつれて、自分で決定できることは増えていくでしょう。でも、人生経験はまだ限られています。では、どうすればエホバとの絆を弱めるような決定を避けられるでしょうか。 (格 22:3 聰明な人は危険に気付いて身を隠すが、経験のない人たちは進んでいって当然の報い(*罰)を受ける) カリー姉妹にとって良い決定をする助けとなったのは、クリスチヤンとして**十分に成長した人たち**には、**こまごまとしたルールは必要ない**、ということに気付いたことでした。姉妹はこう言います。「私は、聖書に載せられている規則だけでなく、原則も理解する必要がありました」。聖書を読む時には、次のように考えてみましょう。「①この部分からエホバの考え方についてどんなことを学べるだろうか。②自分に当てはまる原則があるだろうか。③それを当てはめることは、どのように**自分のためになる**だろうか」。 (詩 19:7 エホバの律法は完全で、力を吹き込む(*人を連れ戻す)。エホバの教え(*思い出させるものは)は信頼でき、経験の浅い人を賢くする。イザ 48:17, 18 あなたを救う(*買戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。 18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば! そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる) 聖書を読んで原則についてじっくり考えるなら、エホバに喜ばれる決定を下しやすくなるでしょう。クリスチヤンとして成長していくと、エホバの考え方方がいつそうよく分かるようになります。**細かなルールは必要ない**ということに気付くはずです。



この若い姉妹はどんな人を友達にしたか。 (13 節を参照。)

13. 良い友達はどのように助けとなってくれますか。 (格言 13:20)

13 **エホバを愛している人を友達にする。** 7 節で考えた通り、良い友達を選ぶなら、クリスチヤンとしていつそう成長することができます。 (格言 13:20 賢い人たちと共に歩むと賢くなり、愚かな人たちと関わり合うと苦しい目に遭うを読む。) サラ姉妹は喜びを失いかけていました。でも、あることがきっかけで見方を変えることができました。こう言っています。「本当にぴったりのタイミングで良い友達が与えられました。1人の若い姉妹は、『ものの塔』の予習を毎週一緒にしてくれました。また、別の友達は、集会でコメントするよう助けてくれました。こうした良い友達のお

かげで、私は個人研究や祈りにいっそう真剣に取り組むようになりました。そして、エホバとの絆が強まり、再び喜びを味わえるようになりました」。

14. ジュリエン兄弟はどのようにして良い友達をつくりましたか。

14 どうすれば良い友達をつくることができるでしょうか。今では長老として奉仕しているジュリエン兄弟はこう言います。「若い頃は、①伝道している時に良い友達をつくることができました。そうした友達はとても熱心で、伝道の楽しさを教えてくれました。それで、私は全時間奉仕を目標にするようになりました。②また、自分に良い友達があまりいないのは、同じ年代の人とばかり付き合うようにしていたからだ、ということにも気付けました。③後にベテルでも、良い友達に恵まれました。そうした人たちの手本のおかげで、良いレクリエーションを選ぶことができ、エホバとの絆も強りました」。

15. パウロはテモテに対してどんな警告を与えましたか。 (テモテ第二 2:20-22)

15 自分が会衆の誰かから良くない影響を受けていることに気付いた場合は、どうしたらよいでしょうか。パウロは、1世紀のクリスチヤン会衆の中にクリスチヤンらしくない考え方や行動をしている人がいることを知っていました。それでテモテに対して、そうした人から離れているようにと警告しました。 (テモテ第二 2:20-22) さて、大きな家には、金や銀の器具だけでなく、木や土の器具もあります。立派な用途のための器具もあれば、つまらない(*卑しい)用途のための器具もあります。21 それで、後者のような人たちから離れている人は、立派な用途のための器具となります。神聖にされたもの、持ち主の役に立つもの、あらゆる良い活動のために用意ができたものとなるのです。22 ですから、若い時に抱きがちな欲望から逃れ、清い心で主に頼る人たちと共に、正しさと信仰と愛と平和を追い求めなさいを読む。) 天のお父さんエホバとの絆はとても貴重なものです。私たちはそれを育むために一生懸命努力してきました。ですから、良くない交友によってその絆を弱めてしまうことが決してないようにしましょう。 (詩 26:4 人を欺く者と交友を持ち(d*座り)ません。自分がどんな人かを隠す者を避けます(*偽善者と交流しません))

目標を立てるとよいのはなぜか

16. どんな目標を立てることができますか。

16 適切な目標を立てる。信仰を強めたり、自分を磨いたりするのに役立つ目標を立てましょう。 (エフェ 3:16 私はこう祈ります。豊かな栄光に輝く父が、聖なる力によって皆さんの中(*内面の人)を強くしてくださいますように) 例えば、個人研究や聖書通読の習慣を改善できるでしょうか。 (詩 1:2, 3 その人はエホバの律法を喜び、昼も夜も小声で読む(*思い巡らす)。3 水の流れのほとりに植えられた木のようになり、時期が来ると実を結び、その葉は枯れない。行うことは全て成功する) 祈りの回数を増やしたり、内容をいっそう良いものにすることができますか。あるいは、レクリエーションの内容や時間の使い方に關して、もっと自制を示せるでしょうか。 (エフェ 5:15, 16 それで、自分の歩み方をしっかり見守りましょう。賢くない人ではなく賢い人のように歩み、16 時間を有効に使って(*良い時を買い取って)ください。今は悪い時代だからです) エホバは、あなたがクリスチヤンとして成長するために一生懸命努力している姿を見て、喜んでくださいます。



この若い姉妹はどんな目標を立てたか。 (17節を参照。)

17. 人を助けるとよいのはなぜですか。

17 人を助けることによっても、クリスチャンとして成長できます。イエスは、「受けるより与える方が幸福である」と言いました。 (←使徒 20:35) ですから、時間や若い力を用いて人を助けるなら、大きな幸せを味わえます。例えば、会衆の年長の人や病弱な人の助けになることを目標にできます。買い物などの用事をしてあげたり、電子機器の使い方を教えてあげたりできるかもしれません。また、兄弟であれば、仲間にいっそう仕えるために、援助奉仕者になることを目標にできるでしょう。 (フィリ 2:4 自分のことばかり考えずに、他の人のことにも気を配りましょう) そして、王国の良い知らせを伝えることによって、兄弟姉妹以外の人にも愛を示すことができます。 (マタ 9:36, 37 群衆を見て、かわいそうに思った。羊飼いのいない羊のように痛めつけられ、放り出されていたからである。 37 そこで弟子たちに言った。「収穫は多いですが、働き手は少ないのです）もし可能であれば、何らかの全時間奉仕を目標にしてください。

18. 全時間奉仕を行うことは、クリスチャンとして成長する上でどのように助けとなりますか。

18 全時間奉仕を行うなら、クリスチャンとして成長する機会がいっそう開かれることになります。例えば、開拓奉仕をしているなら、王国福音伝道者のための学校に出席できるかもしれません。また、ベテル奉仕や建設奉仕を行うことができるかもしれません。若い開拓者であるケイトリン姉妹はこう言います。「経験豊かな兄弟姉妹と宣教で一緒に働いたことが、クリスチャンとして成長する上でとても助けになりました。そうした人たちの手本のおかげで、聖書の知識を深め、教える技術を磨きたいと思うようになりました」。

19. クリスチャンとして成長していくなら、どんな祝福を経験できますか。

19 クリスチャンとして成長していくなら、多くの祝福を経験できます。むなしの目標を追い求めで若さを無駄にすることを避けられます。 (ヨハ一 2:17 さらに、世も、世の欲望も、過ぎ去りつつあります。一方、神の望むことを行う人は永遠に生きます) 良くない決定をして苦しむこともないでしょう。あなたが行うことは成功し、幸福を味わうことができます。 (格 16:3 行うことは何でもエホバに委ねよ (d*あなたが行うことをエホバに転がせ)。 そうすれば、計画は成功する) そして、あなたの手本を見て、仲間

の兄弟姉妹は年齢に関わりなく励みを得ることができます。 (テモ一 4:12 あなたが若いからといって、誰にも見下されないようにしなさい。かえって、言葉や振る舞い、また愛、信仰、清さ(*貞潔さ)の点で、忠実な人たちの手本となってください) 最も重要なこととして、エホバに喜んでいただき、エホバとの強い絆を持てるので、穏やかな心や満足感を味わうことができます。 (格 23:15, 16 わが子よ、あなたの心が賢くなったら、私は心から喜ぶ。 16 あなたの唇が正しいことを語るとき、私は心の奥底(d*腎臓)から歓喜する)

どのように答えますか

1. バプテスマの後もクリスチャンとして成長していく必要があるのはなぜですか。

- ・S02 サタンがエホバに対するあなたの愛を弱め、エホバから引き離そうとするので、エホバへの忠実を保ち、献身の誓いを守るには、クリスチャンとして十分に成長するよう「努力」を続ける必要ある。
- ・S03 パウロも仲間のクリスチャンに、子供の特徴を捨て、十分に成長する必要について述べた。

2. 若い人はクリスチャンとして成長するためにどんなことができますか。

- ・S04 エホバを愛する面で成長する：正確な知識と十分な識別力を得るなら、いっそ愛の豊かな人になれる。 (S05) イエスについて知れば知るほどエホバへの愛を深めることができる。
- (S06) ク里斯チャンとして十分に成長した兄弟姉妹とよく知り合う。
- ・S08 疑いの気持ちを乗り越える：進化論など学校で教わることをうのみにするのではなく、聖書の真理をよく調べる。
- ・S10 性的不道徳など間違った行いを退ける：①エホバに祈り気持ちを打ち明ける、②聖書を毎日読む、③自分一人で悩まずに親に相談する。
- ・S12 聖書の原則を指針とする：聖書を読んで原則についてじっくり考えるなら、エホバに喜ばれる決定を下しやすくなる。
- ・S13 エホバを愛している人を友達にする： (S15) 会衆内でも、良くない交友を避ける。

3. ク里斯チャンとして成長する上で、適切な目標を立てることはどのように役立ちますか。

- ・S16 個人研究や聖書通読、祈りの習慣を改善したり、レクリエーションの内容や時間の使い方にもっと自制を示すなど目標にできる。 (S17) 仲間を助けることや、 (S18) 全時間奉仕を目標にするなら、クリスチャンとして成長する機会がいっそ開かれるようにできる

88 番の歌 あなたの道を教えてください

▲若い人がバプテスマを受けると、エホバに仕える人たちは皆とてもうれしく感じるものです。もちろん、バプテスマを受けた人は、その後もクリスチャンとして成長していく必要があります。この記事では、最近バプテスマを受けた若い兄弟姉妹がクリスチヤンとして成長していくためにどんなことができるかを取り上げます。若い人だけでなく、会衆の全ての人が大切な点を学べます。

▲一部の名前は変えてあります。